

辻堂今昔物語 特集「温故知新！大石さんに聞く辻堂の歴史」



大石静雄(おおいししずお)
郷土史家・辻堂東海岸在住・82歳
青年会、子ども会、地域の社会福祉
活動に長年貢献。辻堂地区交通安
全対策協議会会長を20年以上務
める。人命救助や窃盗犯を捕まえた
こともある若い頃から熱血漢。
マラソンは引退したが数々の大会
に出場 趣味は盆栽と読書

「小学5年の時、友達と辻堂駅前の三浦藤沢信金の裏道で遊んでいたら初老からこの道で源頼朝が落馬し、それが原因でしくなられたことを覚えておけよ」と声をかけられた。辻堂や藤沢の歴史を調べてみたくなり、歴史研究が始まったわけです」と郷土史家の大石静雄さん。歴史に残る貴重な資料や写真を多数持つ大石さんを訪ねてみた。第二次世界大戦では海軍航空隊所属で奮戦され、九死に一生を得る体験もされたが、無事復員した。終戦後、せっかく生き残ったんだから社会の力になることをしよう」と地域活動、福祉、交通安全、人命救助など世の為人の為に貢献し、表彰状、感謝状は百を越える。

八のヶ原(八松)の由来

「古代この辺りは大庭まで海だったといわれ、平坦な砂地で、名前は鎌倉時代に弓の練習場として八つの的があり八のヶ原と呼ばれていました。が、低い丘や芝原に松が多く、いつしか八松と書かれる様になり八松ヶ原となりました」。

片倉製糸工場が辻堂にあった

左の写真は片倉製糸工場がありまして、かなりの人が働いていました。場所は神台2・2辺りで、共同油脂の看板の向かいのテニスコートがその跡地です。戦争が始まると海軍に買収され海軍の服を作っていました。20年8月終戦により解散。その後住友特殊製鋼となり、関東特殊製鋼カントクとなりました。

海軍演習場だった辻堂海岸

右の写真は海軍の演習風景です。B29による夜間空襲があつて、月光による日本軍の攻撃が米軍機に命中し、湘洋中学辺りに落ちました。11人乗っけていて、一人は水死、10人は捕虜となり、一人は木にひっかかって、それを警防団が猟銃で撃ってしまいました。捕虜を撃ってしまったことが問題になった様です。右の写真は焼夷弾の攻撃を想定したバケツリレーの訓練の様子です。

写真です。場所は辻堂駅前南口で、静岡銀行の前付近です。

辻堂駅の爆発事件

終戦後の昭和20年12月17日に辻堂駅で爆発事件がありました。貨車を入れ替えてて爆発したもので、家屋8軒全壊、8人死亡、400軒の家が崩壊した。

昭和通りが開通

駅より浜見山へ向かう昭和通りは道がなく、牛車しか通らなかった。山を崩して道を作りました。左は記念式典の写真です。

浜辺の歌

浜辺の歌は、林古漢が辻堂の海岸を思い出して作詞、成



辻堂海軍練習場 西吹き寄せ付近(現在の辻堂団地)

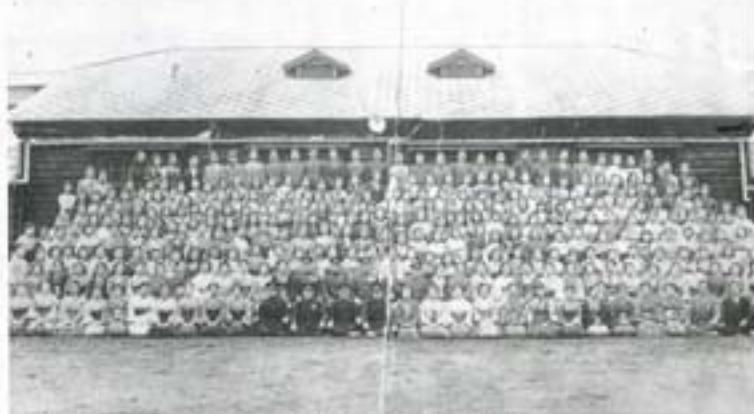


焼夷弾の攻撃を想定したバケツリレーの訓練(昭和15年)カマヤ、小池漬物屋が被害にあった。右手には石井牛乳屋、左手に銀美堂が昔からあるのがわかる

←若い頃の大石さん(一番右)



八松の風景(現在の八松小学校付近)



辻堂 海軍被服廠(正式名:横須賀海軍軍需部辻堂支所)食堂前にて全員の写真撮影 片倉製糸工場(住友特殊製鋼→関東特殊製鋼)カントクの跡地はC-X(シークロス)として開発が予定されている



昭和10年8月21日 昭和通り開通記念
上段:高橋一雄・不明・石井庄蔵・相澤茂右衛門 中段:不明・植木久蔵・不明・斎間由蔵・石井光次郎・不明・山田權太郎・落合政雄 下段:土木技師・桜井栄太郎・大野町長・助役・桜井兵四郎・桜井耕作
浜辺の歌(注1)大正七年古漢は作詞、当初は三章からなっていたものを書き二章とした。

この他にも辻堂にまつわる歴史話を大石さんは沢山持っている。権現山と西行法師、新田義貞と足利高氏(尊氏)であつた。小高い砂山からは相模湾が一望でき秀麗富士に箱根伊豆連山と沖に浮かぶ島、江ノ島、三浦半島から房総半島まで一大パノラマの如し。

各神社やお寺、道祖神、白い話は尽きない！

16日には町内会主催での歴史巡りの講師をさき、最後にみなさんへ土んから出題です。昔の名物といえは何でしょ、3つ(解答は3面下)

浜辺の歌

林 古漢作(一、あした浜まよえは、昔しのことぞ忍ばれる、風の音よ、雲のさまよ、よする波も貝の色も、二、ゆうべ浜とおれば、昔の人ぞ、寄るする波よ、かえず波よ、月の色も、星のかげも、

